

広がれ! ボランティ어의



第4回 市広報誌を朗読 牛深朗読ボランティア「さざなみの会」

視覚障害のある方へ朗読テープを提供

昨年行われた第十四回全国ボランティアフエティバルの国くまもとでボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受けた牛深朗読ボランティア「さざなみの会」牛深市内に住む約四十人の視覚障害のある方へ牛深市の「広報うしづか」を朗読したテープを提供しています。毎月十六人の会員が分担を決め、自宅で何度も練習を繰り返した後、下読みも含め二日かかりで録音に臨みます。依頼があれば新聞や小説、電気機器の取扱説明書などの朗読も行っていきます。

録音は毎回が真剣勝負



朗読の録音風景

会の発足は平成二年、牛深市社会福祉協議会の「福祉ボランティアのまちづくり事業」がきっかけでした。翌年、同協議会主催の朗読ボランティア養成講習会を受け、本格的な活動がスタートしました。「毎月一回の録音の日を会員みんなが楽しみにしています。普段は和やかな雰囲気ですが、録音は毎回が真剣勝負。誤

った情報を伝えないう。特に人の名前前の読み方には細心の注意を払います。終わった後の達成感は何ともいえません」と話す代表の中村メイ子さん。会員の皆さんも「写真の感動や、図ラフなどを言葉でどう伝えるかが難しいですね。毎日が勉強です」と話します。

年に二回、視覚障害のある方との交流会も開かれています。「皆さんからの感謝の言葉を聞くと、やりがいを感じます。朗読したテープの感想を直接聞くことができ、次の録音に生かしています。皆さんテープの声を聞けば、これは〇〇さんだなと分かるみたいです。聞き取りやすい声を保つため、体調にも気を使うようになりました」と中村代表。

市町合併を機にさらなる広がりを

会員の多くは朗読以外にも陶芸教室の講師や庭のせん定を行うなど、さまざまなボランティア活動に積極的に参加し、より良い地域社会づくりを目指しています。三月には合併して、天草市となる牛深市。「合併してもこのまま活動を続けていきたい。そして視覚障害のある方だけでなく、寝たきりの方など、朗読サービスを希望する新しい市民全員に朗読テープを届けたいですね」と会員の思いは膨らみます。新市誕生に向け、朗読ボランティア活動のさらなる広がりが期待されています。



「さざなみの会」の皆さん

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q 仕事を探している母子家庭の母です。就職や日常生活など、ひとり親家庭についてどのような支援がありますか?

A 県では、昨年12月に策定した「熊本県ひとり親家庭等自立促進計画」を基に、ひとり親家庭等が自立し、安心して生活できるための支援を進めています。現在は次のような支援を行っています。



■就業支援
◎家庭生活支援員やビジネスパソコンなどの資格取得講座の開催、就業情報の提供や就業に向けての生活上の相談に応じています。

◎母子家庭のお母さんが、県が指定する職業能力開発のための民間教育訓練講座を受講した場合に受講料の一部を支給したり、看護師などの資格を取るために通学する場合に給付金を支給したりしています。

- 子育て・生活支援
 - ◎父子家庭を含むひとり親家庭等で一時的に家事や介護、子育てなどの日常生活に困る場合に、家庭生活支援員を派遣しています。
- 経済的支援
 - ◎経済的な自立や子どもの就学などに必要な資金の貸し付けを行っています。
- 各種相談
 - ◎女性福祉相談員がひとり親家庭等の方の悩み事などさまざまな相談に応じています。また、弁護士などの専門家による特別相談も行っています。

詳しくは次の所にお問い合わせください。

支援内容	お問い合わせ先
就業支援について	●熊本市内にお住まいの方 熊本市母子福祉センター ☎096-385-1160
専門家による特別相談について	●熊本市以外にお住まいの方 熊本県母子家庭等就業・自立支援センター ☎096-351-8777
家庭生活支援員の派遣について	お住まいの市町村の福祉担当課
就業のために必要な資金や子どもの就学資金などの貸し付けについて	最寄りの県福祉事務所
各種相談について	

お問い合わせ先
熊本県子ども家庭福祉課 ひとり親家庭福祉班
☎096-333-2229 FAX 096-383-1427
電子メール kateifukushi@pref.kumamoto.lg.jp

